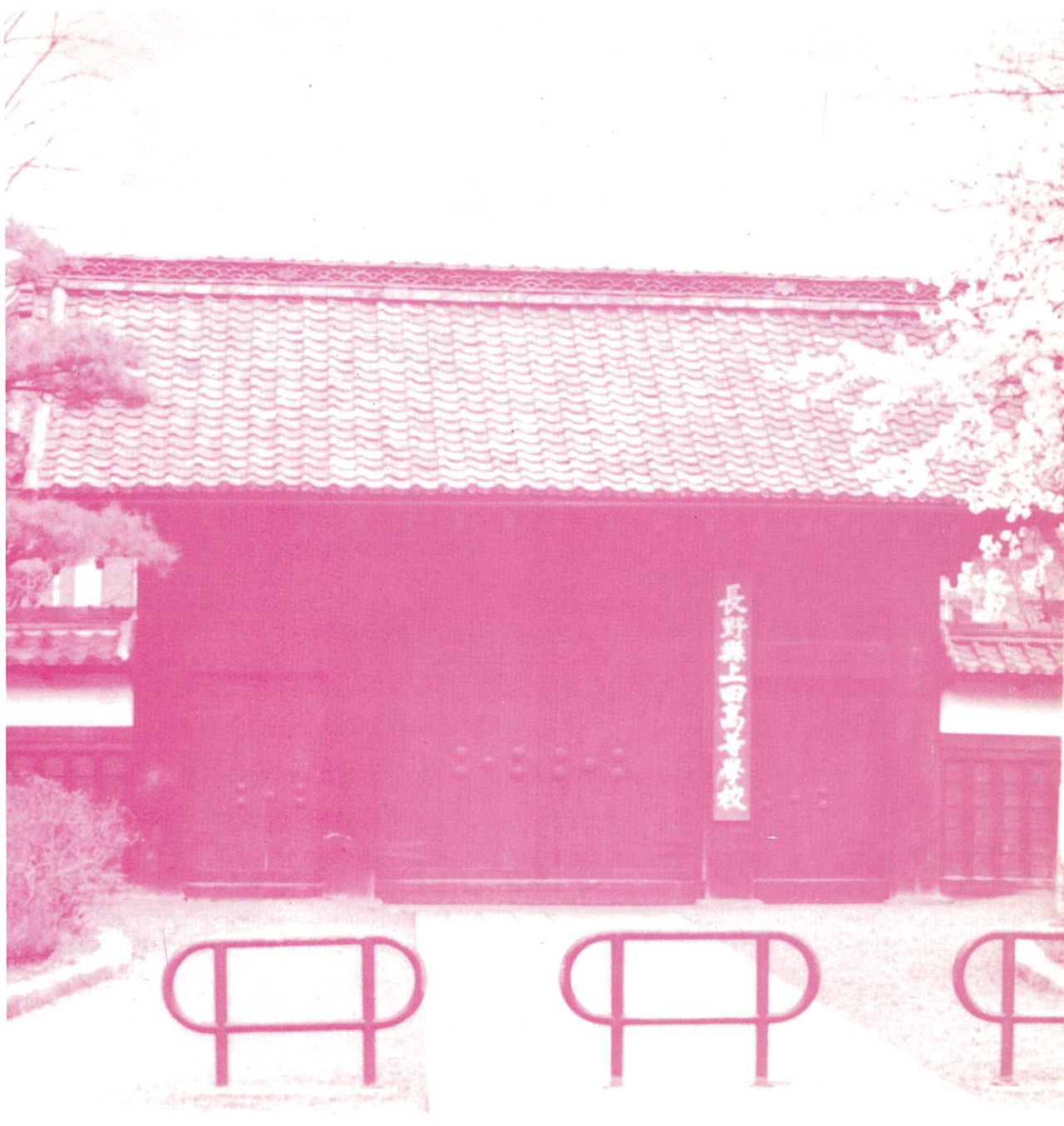


会報

1985/NO.10

昭和60年4月30日発行



長野県建築設計監理協会

長野県建築設計監理協会事務局＝

〒380 長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館

住まいと環境

衣・食・住と言いますが、衣・食に比べ住(建築)の知識は薄いのではないのでしょうか。あなたの周辺で一つの建築ができあがると、その周辺の街の様子が一変することに気づかれたことがあると思います。それは良くなる場合もありますが反対に悪くなることもあるのです。建物が単に一つのものでなく、環境に強い影響を持っている証拠です。

会と会員

長野県建築設計監理協会の会員は、建築設計監理の専門家の集団です(会の名前のうち監理については後で述べます)。

設計とは

設計とは、単に紙に鉛筆で図面をかくことのように思われていますが、実は図面に表わされる段階になれば設計という仕事の大部分が終わっているのだ

と言っても過言ではありません。図面化する前に、住む人の生活を考え、その建物の美しさ、丈夫さを考え、更に街なみを、環境を考えなければなりません。そのために周到な事前調査、設計者の蓄積された豊富なノウハウ、建てる人との話し合いなどに十分の時間を費すのです。

建築設計監理とは

監理とは

その道の専門家による第三者の監査機能が必要になります。私達が「監理」と言っている仕事は、設計が終わり工事が始まる時点から完成まで、またその後のアフタケアまで、建てる人(建築主)と、工事をする人(建設会社)の中間の立場で工事全体を監査することを言います。

私達会員は、建設会社、建築材料製造、販売会社などと利益上の関わりが無いことを会員資格の条件としております。

設計料について

医師、弁護士は営利追求の仕事でないことをご存知でしょうが、私達の仕事も同質であると考えております。正当な報酬については建設大臣の告示が出ておりますし、会員は当然これに倣する仕事をするをお約束します。

むすび

会員は、社会、地域、建築主、建設会社の信頼に応える良い「しごと」をする使命感を持って行動いたしております。何ごとによらず協会または会員にご相談、ご質問くださることを期待いたしております。

(長野県建築設計監理協会)

も く じ

「町と村—まちづくりのテクニック」	齊藤 英彦	3
設監協 NEWS		4
上田城と真田氏(-)	上田市観光課	5
「より良きものの創造を」	高橋 善門	6
「美しいとは」	桃井 保	7
《会員事務所作品紹介》—(株)マルタ建築事務所		8
テクニカルシート	矢崎総業(株)	12
賛助会員名簿		13
会務報告・正会員名簿		14

■表紙

上田城三の丸門(現上田高校正門)

町と村

—まちづくりのテクニク—

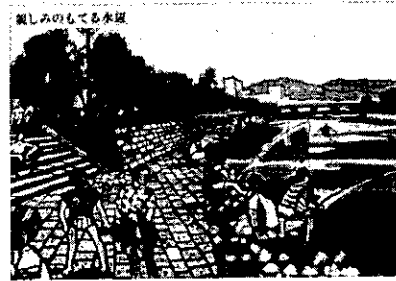
齊藤 英彦



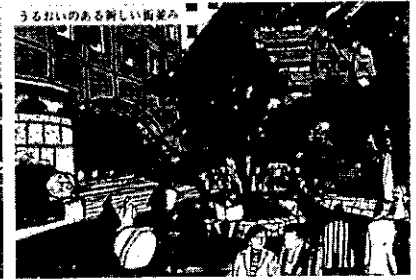
毎日建築の設計だけに視点を集中するあまり、建物群の集合体としての町づくりや緑地・広場・遊び場等との関連について忘れがちである。しかし実際にその建物を使う人々から考えると、車が徒歩で近づく場合都市環境の一部としてその存在をとらえるだけである。戦後すでに半世紀近くが過ぎ、衣食そして住生活はあるレベルまで向上し次は質の問題へと転換してきている。人々は住むだけでなく、交通系統についても公共広場や緑地関係を含めた「中間領域」についても十分に考慮した建物を求めているのである。

「都市計画」とは簡単な言葉に置き替えれば「町づくり」である。個々の建物同士そして町や村の中でのその建物のとらえ方を考える姿勢である。まず自然があり地域があり、住区がある。これを中心に設計を進めていきたい。自然を大事にし共存共栄する方法を頭に入れてほしい。子供の頃遊んだ鎮守の森や裏山の里山、市民祭や四季折々の花祭り、河原や郊外の桃の里、〇〇牧場でのつつじ祭——これらは大事な市民活動の一つであり、市民会館での文化活動よりも広域連帯を盛り上げるのに効果的である。子供達の非行や校内暴力等が発生する余裕等全くない程楽しい野外活動の場——緑地や河川域が各地区ごとにあり、日曜日には他区の方まで足をのばしてピクニック（スケッチ1）。

「まちづくり月間実行委員会」が各種公共団体（日本緑化センター、日本建築センター、住宅都市整備公園等）を中心につくられ、各種の提



スケッチ1



スケッチ2

案を行い、建物と建物との「つなぎ、や相乗効果を図っている。自治体職員が潤滑油となって、我々設計を業としている技術集団がアイデアを出す。だが、実施に当たっては特に地域住民が自ら動く必要がある。上から与えられた都市計画では、首長の交替や政府の予算だけでつぶれてしまうことにもなりかねないが、住民一人一人の自覚に基づいた施策ならば年とともに成長発展する「都市計画」になるからだ。

「旭川の買物プロムナード」や渋谷の商店街計画、「小樽運河計画」、街並計画の元祖「馬籠・妻籠宿」、またお祭り広場の具体化などは良い例である。これら施策において、古き良き時代を生活の中に再認識して長い文明・文化の歴史の中から子孫に伝えたいものを残していく＝街並保存＝も忘れてはならない。

住区以外でも、事務所や工場での労働空間や買い物の場を含めた街区内に、人々との「まじわり」の中から会話が生まれるようなポケットパークや緑地がほしい（スケッチ2）。寝食分離や労住区別の意見はもう古い。住勤接近が楽しくできれば経済的にも時間的にも合理的である。建築家の手腕により高密度の住宅団地にアメニティ（快適性）を創造することが、今後のまちづくりの中心課題となるであろう。

（㈱エアハイツ建築設計事務所所長）

第9回技術交流会開く

宮本会長の報告から

設計監理協会恒例の技術交流会（第9回）が4月12日、松本市の松本市勤労者福祉センターで行われました。今回の担当は矢崎総業株式会社。宮本会長から報告をいただきます。

技術交流会も回を重ねるにつれ、参加者が増加し、今回は勤労者福祉センター大ホールに一般(非会員)も交え約150人ほどの参加となりました。たまたま矢崎総業株式会社さんの全国キャンペーンと重なったことから、大変有意義な交流会にさせていただき、ここで矢崎総業株式会社、ならびに関連企業の方々に御礼申し上げます。

当日の交流会は短い時間ながら講師の方の要領のいい解説のため、会場に熱気がみなぎり製品に対する理解が一段と強まったことと思います。

特に矢崎吸収冷温水機シリーズを中心に、会社の製品大要を紹介いただき、省エネ時代を先取りした同社の技術開発への努力に一同敬意を感じた次第であります。

同社の製品は、大きく分けると四つの部門となります。これは①吸収冷温水機アロエースシリーズ。②クーリングタワーシリーズ。③ファンコイルシリーズ。④制御機器シリーズです。この特長は①から④まで一連のシステム化が図られていることにあります。

①の吸収冷温水機アロエースでは、温水焚・一重効用形・二重効用アロエースパック・二重効用形NEWアロエース・一重二重複合形、二重効用形蒸気焚があります。それぞれがモジュラータイプとして完全にシステム化が可能であり、また建築物への対応が自由に出来て経済的です。特にアロエースパック(新型)などは少スペース化、設置・操作のシンプル化を図った小規模空調にふさわしいコンポーネントタイプとして、同社の代表的製品の1つであります。

②のクーリングタワーには角型・丸型・アベック型の3タイプがあり、省エネ、低騒音、コンパクトであることが特長。

③のファンコイルユニットではローボーイ型、パッケージ型、天吊型、床置型、カセット型があり、特にアロエースシステムの遠隔操作、監視を行うリモートコントロールが特長。

④ではモジュラーコントローラの徹底です。つまり高度な省エネ化を極めたマイクロコンピュータにより、予測制御や運転の自動化、運転状況の記録などを行い営業面で正確な処理が可能なのが特長です。

このあと展示ホールで実物見学もさせて頂くなど、大変に充実した技術交流会となりました。今後とも多くの会員の参加を頂き、爽りある交流会にしていこう考えです。

太陽熱利用と省エネシステム

- ソーラーシステム
- 温水式床暖房システム
- 温水式融雪システム
- 産業用省エネシステム
- 空調・給排衛生システム

———設計・施工———



(社)ソーラーシステム振興協会会員・日本太陽エネルギー学会会員
日本床暖房工業会会員

中部クリエイト工業株式会社

本社/長野市大字村山537-1 ☎(0262)96-2511(代) 〒380
東京支店/東京都台東区東上野3-39-10光和ビル4F ☎(03)835-7101(代)

●札幌営業所 ☎(011)231-1875 ●高崎営業所 ☎(0273)63-0747
●松本支店 ☎(0263)27-0878 ●伊那営業所 ☎(02657)8-8836
●東信営業所 ☎(0268)25-2602 ●新潟営業所 ☎(0252)25-0431

上田城と真田氏 (一)

上田市観光課

上田城は1583年(天正11年)ごろ真田昌幸によって築かれた。城の南方に千曲川の断がい(尼ヶ淵といわれる)があり、北に矢出沢川などが天然の要害となっていたのを利用して築城されたもので、平城(ひらじろ・平地に造った城)の典型的なものといわれる。

築城にあたっては、北の太郎山から木材や石材を運び込み、真田氏上田平進出の翌年には完成させるというスピード工事だったという。城郭の様相は、当初から天守閣がなく、七つの隅櫓(すみやぐら)にみられるように簡単な防御施設を主体とした城であったようだ。真田氏はここに40年間居城して1622年(元和8年)松代に移り、その後仙石氏が85年間、さらに1706年(宝永3年)から幕末まで松平氏が居城していた。

今この一帯は国の指定史跡となり保存・保護され、上田城跡公園として市民に憩いの場を提供し、二の丸・本丸の堀や石垣、土居、櫓(現在3つが残存=県宝)は昔日の面影を今に伝えている。櫓は明治時代に入ってから民間に払い下げられ、一時は太郎山麓にあった上田遊郭の建物として使われており、その後昭和19年に買い戻され復元したという経過がある。

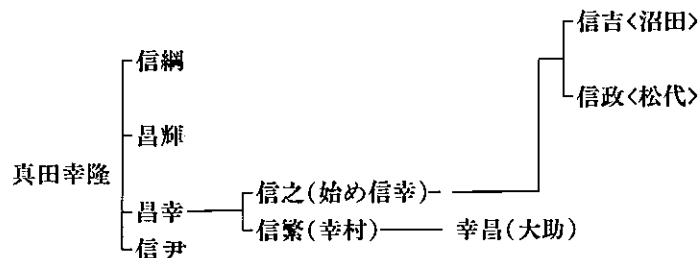
真田氏の出自と系譜

ここで上田城を築いた真田氏一族の出自とその系譜について触れておきたい。これについては従来から諸説があって明確にされていない。い

くつかの系図が流布されているが、大別すると以下ようになる。①小県の名族海野氏の直系として、幸隆の代に真田に住して初めて真田の姓を名乗ったとする『真田家系図』や『寛政重修諸家譜』などの真田系図②『白鳥神社石和家海野系図』や『良泉寺矢沢系図』などにみられる、海野棟綱の女(娘)の子が真田幸隆とする系譜、つまり海野氏の支族である真田氏のもとに本家から娘が嫁に来て幸隆が生まれたとするもの③以上の①②とは別に最近の説で、真田氏は古代氏族の大伴氏系から発展した一族で、平安時代以前にさかのぼり牧場経営者として勢力をふるっていたとするもの。

これら系譜の信憑性はともかく、明らかなのは幸隆からでそれ以前は不明と言わざるを得ない。昭和46年春、真田町角間集落入口、松尾古城南麓で真田氏一族に関係するとみられる墳墓群の発掘調査が行われた。これらは五輪塔と宝篋印塔を墓標とした中世墳墓遺構であり、その下部の石組み内に火葬骨が埋葬されていることが確認されている。調査結果から被埋葬者は、少なくとも真田幸隆以前の真田氏一族であろうと結論づけられた。この調査所見は②③の系譜に符合するものであったが、それ以上の展開はなかった。

なお幸隆以後の上田城を中心とした真田一族の系譜は以下のようになる。



(上田市立博物館学芸員 川上元)

より良きものの創造性を

所員委員会副委員長 高橋善門



このほど設計監理協会に所員委員会が発足しました。この会を単なる親睦団体や有名無実の団体ではなく、何か意義のある団体にするために各事務所の所員の皆さんに積極的に参加していただき、技術的な面はもちろん身近なところまで、さまざまな問題提起をしていく必要があるのではないかと考えます。

そこで私は建築士の実質的地位の低下について考えてみたいと思います。この問題は建築設計事務所にとどまらず、我々個々の建築士にまで及んでいます。どうして設計監理の報酬はこんなにも低いのでしょうか？仕事に対して正当な評価を得ているとは思えません。これでは良い建物など創り出せるわけもなく、安かろう悪かろうではますます建築士の地位は下がる一方です。将来に明るい見通しが持てないのが実情ですが、誰もこのままでよいとは思っていないはずです。

原因を考えてみますと、一つに受注ダンピングなどという何の根拠もない行為があげられます。ただ仕事を得るために、自分の身を切り売りして安売りするようでは良いものは生まれてこないのではないのでしょうか… 技術者同士競うのは技術のはず、それを設計入札などという不純な方法を「よし」としてこのまま見過ごしていいのでしょうか。

私はこんな話を聞いたことがあります。某テレビ番組でのこと、住宅をテーマとして家を建てる時の種々の問題を取り上げていたのですが、そこで家を建てる場合「どこを信用して相談すればよいのか」というテ

ーマに話題が及んだところ、最後まで「建築設計事務所、という言葉は出てこなかった、ということです。一般の人々に設計事務所は忘れられてしまったのでしょうか。これは、設計事務所が人々にとっては別の次元のものとなっているということの表れであると思います。これでは建築設計というものが正しく理解してもらえないし、職種としてきちんと受け入れてもらえないのも当然です。人の生活に一番身近な建物を扱う職業なのだから、もっと開かれたものでなくてはならないと思うのです。

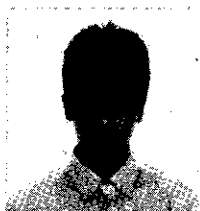
この場合、多分に建築設計者自身に問題があると思われれます。今まで独自の世界の中でぬくぬくと育ってきた結果、こうしたモラルの低下や設計製図の質の低下などを生じさせてしまい、現在に至ったのです。これからの建築士は、技術者が技術者として生きていくために時代に即した何らかの新しい方向を積極的に見いだしていかなければならないと思うのです。そのために我々がしなければならないことは――

- 1) 設計をもっともっと一般の人々に開かれたものとし、理解してもらい「正当な仕事に対する正当な報酬」にも理解を得る。
- 2) 設計製図の質を上げ、施工業者へしわ寄せがいかないよう責任ある仕事をする。そして建築士の社会的レベルを上げる。
- 3) 建築設計の業務を兼業させないようにする（設計をゼネコンのサービス業務にされては、設計という職種が成り立たない）。
- 4) 建築士同士がもっと団結し、官庁関係に今より強く折衝のできる強力な団体をつくる。

このほかにまだまだあると思うのですが、ひと言で言えば人々に理解されるようなより良い空間を創り出すため、絶えず誇りをもって努力していく、ということに尽きるのではないかとと思うのです。

美しいとは

所員委員会委員 桃井 保



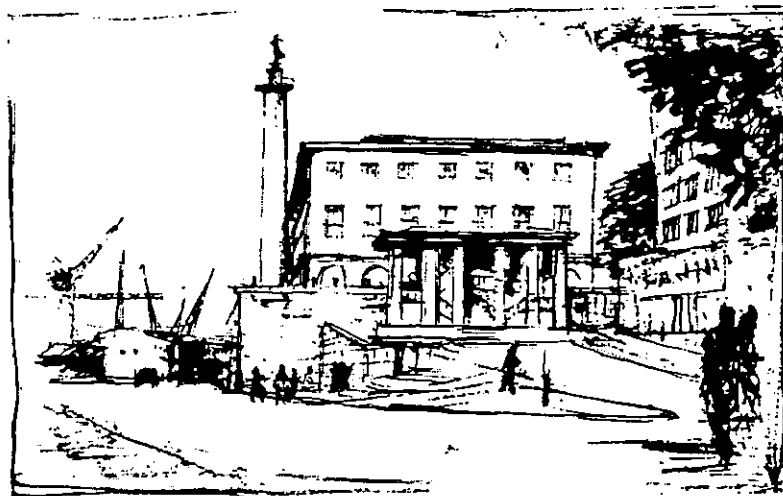
「美しいとはなんだろうか？」と聞かれたとき、あまりにも漠然としすぎていて答えられる人はたぶんいないであろう。

しかし一つの物があり、それについて「美しいか」と聞かれればだれでも答えられるであろう。ある人はいかにも難しい本を読んでいるように、難しく、私達の初めて聞くような言葉をときどきおりませながら説明してくれるかもしれない。またある人は「美しいから、美しいんだ」とそっけなく答えてくれるかもしれない。だがなにもない空白のときに「美しい」と言える人のいないのはなぜだろうか。それは、人間社会生活において必要な秩序が欠けているからだ。人間にとって秩序とは、十人十色の中にある一つ一つの共感から成り立っているものであり、人間がそれぞれ生きていく上で必要なものである。

「美しい」という言葉は、言い換えれば感動の表現の一つでもある。人々が無意識に美しさを感じ「美しい」と表現できることは、秩序のある中でのみ存在しうることである。よって「美しさ」と「秩序」はある面でイコールだとも言える。しかし世の中には、秩序というものさしで測ろうとしても測れないものがたくさんあると思う。たとえば庭の木一本にしても、どの枝をどの位切り、どの枝を残すかによって、その木が生きるか死ぬかが決まってくる。まして一本ずつ見ただけではだめで、庭全体を考えねばならない。このようなことは私達の身のまわりにもあり、とりわけ設計をしていく上でいつも考えさせられていることである。

前述の空白を空間として考えてみると、これが建築についても言えることがわかる。一つの空間に棚があり開口部があるように、多次元の要素が一つの美しい空間をつくり出す。それも機能的にすぐれていなければ建築美としてみることはできない。いくら美しく見えても、居間が狭かったりトイレが狭かったりすれば、機能的に美しいとは言えないのである。そこで機能的ということと秩序が置き換えられるわけである。

ありふれた建物であっても、無理にデザインを証明しようとせずに、住んだときに初めてデザインに共感し機能性を感じてもらえれば、それでよいと思う。秩序と、秩序というものさしでは測れないものとの調和を求め、建築としての美を追求していくことが、我々設計する者の役目ではないだろうか。



会員事務所作品紹介

(株)マルタ建築事務所

代表取締役社長 丸田 操
長野出張所長 須田 考雄

本 社 東京都千代田区神田須田町1-24
長野出張所 長野市県町459 旭町ビル



小諸市立千曲小学校

建設地/小諸市大字山浦 構造/RC造 1~3F
延面積/5,430m² 工期/1981年6月~1982年3月

懐古園より千曲川を隔てた対岸の高台に位置し、背後に浅間山を望む大変恵まれた環境にある。敷地の西側が山となっており、通学路はその山沿いの高い位置にある。そのため高低差を利用し、昇降口とそれに続く管理部分を2階に設けた。管理部分が動線の中心にあり各棟への連絡が良く、またグラウンドの見通しも良く、管理上便利である。

この管理棟を中心に、3階建の高学年棟は北側に、日照条件の悪い西側には屋内運動場、給食棟を設けた。給食室が2階のため眺めも良く衛生的である。この給食室では、各学年の入りまじったグループで食事をとり、普通の授業では学べない低学年から高

学年という縦のコミュニケーションを学ぶ場としても活用されている。

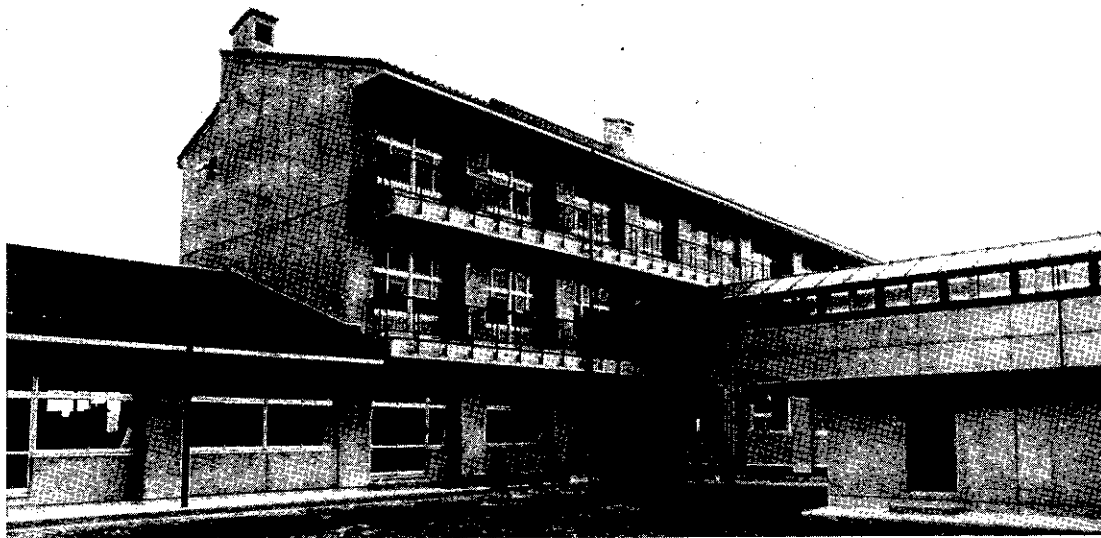
中2階に設けられた屋内運動場は、1階の出入口を通じてグラウンドへの連絡も良く、一般的には渡り廊下で分離されがちな屋内運動場も、この学校では一体化させ使い易い。またスロープを設けることによって車イスでの利用も可能である。

全体として断熱、凍結防止等省エネや安全、耐久性、吸音性の高い材料の使用や配慮をし、維持管理のし易い、明るく変化に富んだ特徴ある校舎である。



千曲小学校ホールふきぬけ▶

▲小諸市千曲小学校全景



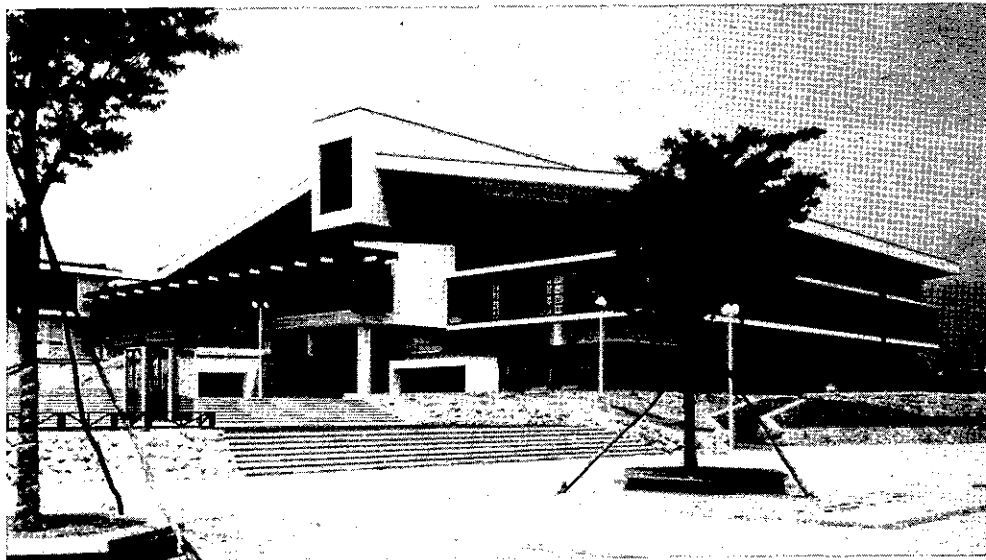
堀金村立堀金中学校

建設地／南安曇郡堀金村大字烏川 構造／RC造1～3F 延面積／5,219㎡ 工期／1983年7月～1984年12月

豊かさを思わせる安曇野の風景の中に溶け込むような瓦屋根の落ち着いた校舎と静かな環境。

小学生から大人になる前の人格形成、勉学ともに大変重要な時期を過ごす施設にふさわしい校舎として、内部は床をフローリング貼・腰羽目板貼・壁合板貼とし、また木製格子戸の採用等木材を多く使用することにより、親しみ易く温かみがあり落ち着いた雰囲気となるようにした。

時間がたつほど我が母校として誇れ、また愛着が増していく。20年後、30年後が楽しみな学校である。

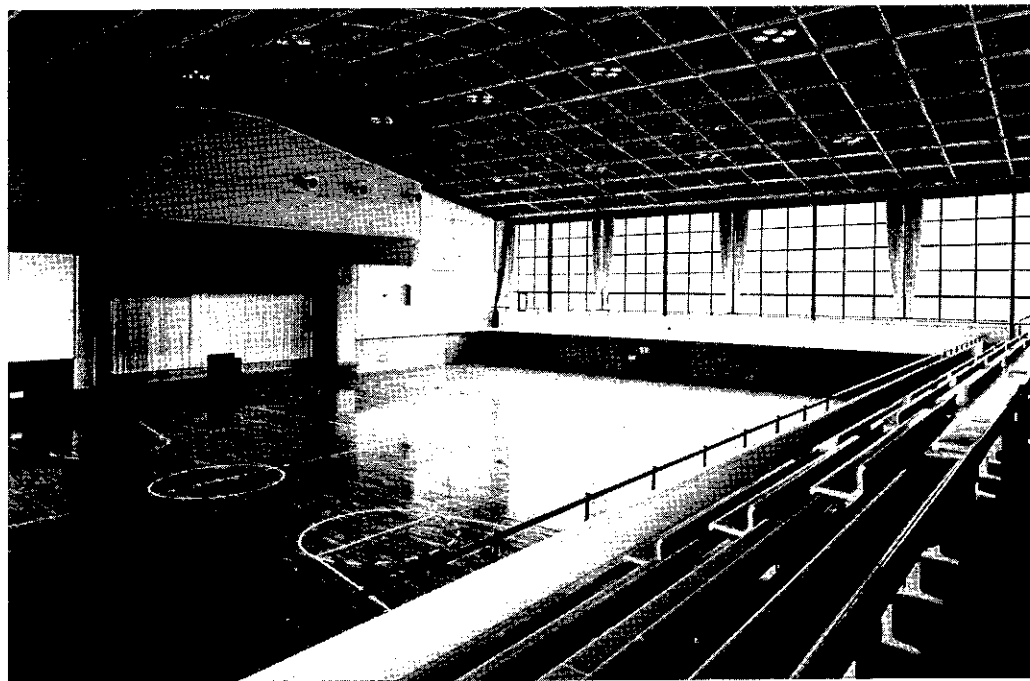


▲堀金中学校
▲長野運動公園総合体育館

長野運動公園総合体育館

建設地／長野市吉田 構造／主体育館RC造3F上部S造 補助体育館SRC造3F上部S造 延面積／8,662㎡ 工期／1976年12月～1978年8月

長野国体のバスケット会場として利用されるように造られたこの総合体育館は、東和田の運動公園の中にあり、アリーナの南北に2基のコア、その上に架かるH鋼のキール、それに吊下げられたパイプトラスの美しい空間、その中に1,925㎡のメインアリーナ、1,200席の観覧席、トレーニングルーム、その他諸室が配置されている。付属棟にはサブアリーナ・柔道場・剣道場等があり、また10人立の弓道場も併設され、県都にふさわしい施設として、大勢の方に利用されている。



青木村総合体育館

建設地／小県郡青木村田沢 構造／RC造2
F上部S造 延面積／3,526㎡ 工期／1979年
3月～1980年3月

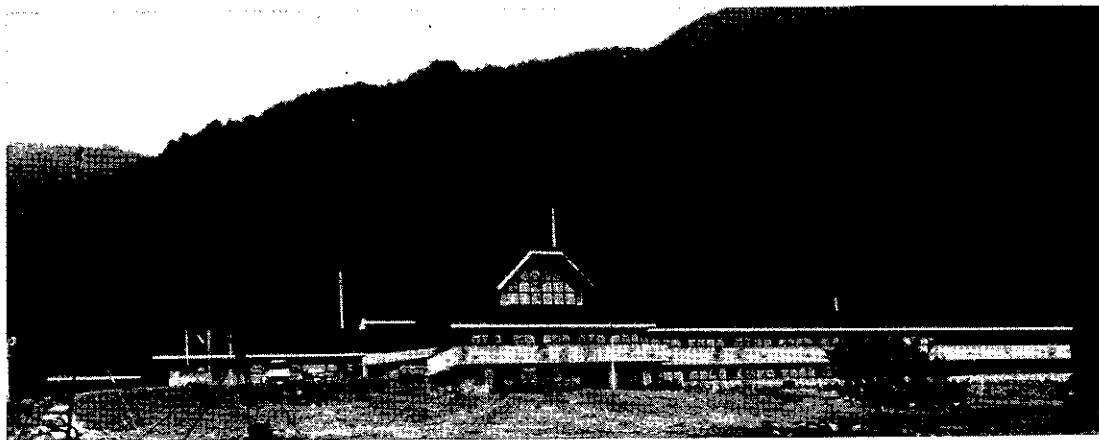
総合体育館としてアリーナ・柔剣道場・トレーニングルームを持ち、ステンレス製50m×13mの競泳プールと流水プールが隣接しており、大変利用し易い施設である。アリーナの空間は8本の大柱にパイプ構造の立体トラスを乗せた。音響効果も良く、明るい、使い易い体育館である。

◀青木村総合体育館
▼少年自然の家武石高原学園

練馬区立少年自然の家武石高原学園

建設地／小県郡武石村上本入 構造／RC造3F
延面積／3,698㎡ 工期／1979年4月～1979年12月

練馬区の小中学生の校外活動の拠点として建設されたこの施設は、二校同時に利用出来るよう宿泊室は二層とし、240人の宿泊室と体育館、食堂、研修室等を設けてある。暖房は床暖房とし快適な環境を作り出し、年間を通して利用している。寒冷地のため軒先を工夫し、屋根はアスファルトシングル葺とした、四季の変化と良く調和した建物である。

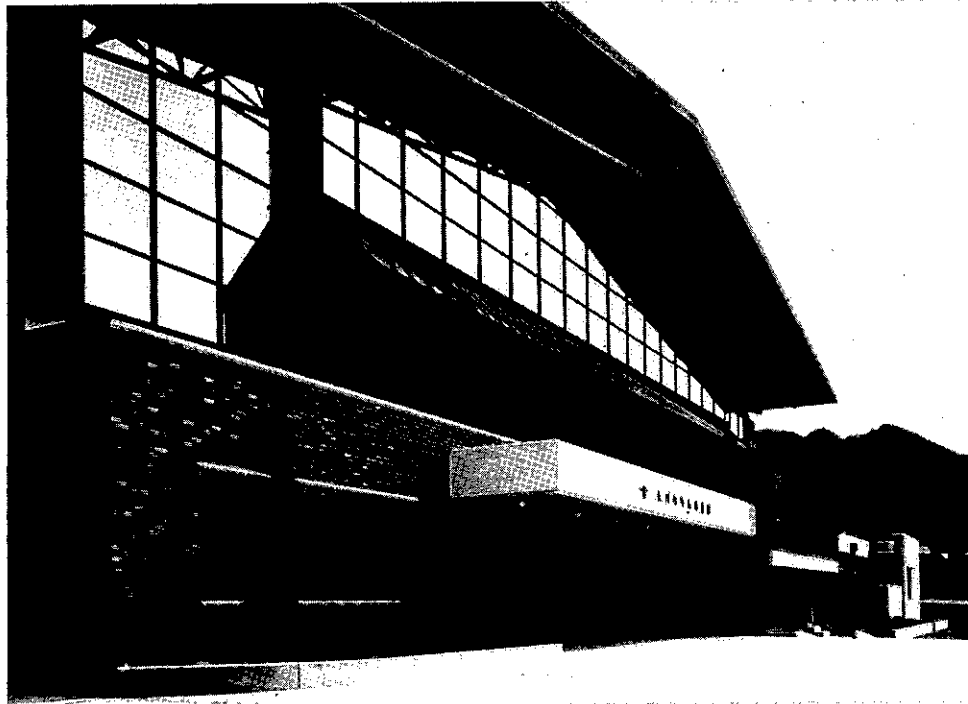
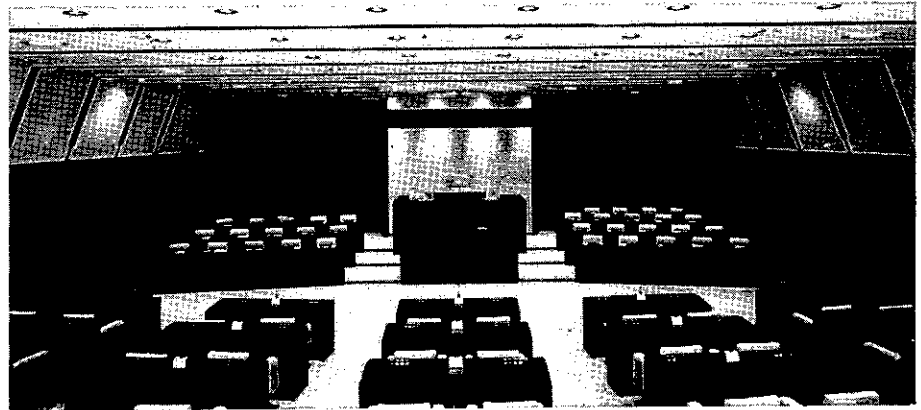


須坂市庁舎

建設地／須坂市須坂 構造／RC造3F・B1F
延床面積／2,791 m² 工期／1979年9月～
1980年5月

行政の中心施設である庁舎にふさわしく、
華美にならず、明るく使い易く風格のある建
物として、市民に親しまれるように、また議場
は権威ある落ち着いた空間となるようにした。

▶ 須坂市庁舎議場



◀ 長門町町民体育館

長門町町民体育館

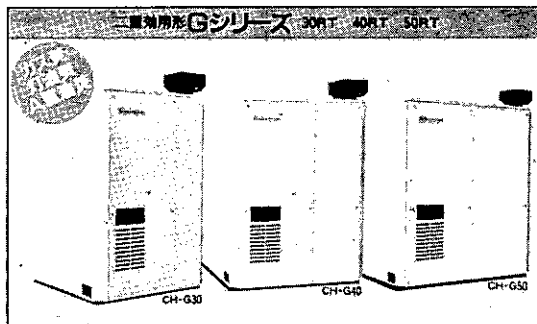
建設地／小県郡長門町大字長久保 構造／RC
造2F上部S造 延面積／2,418m² 工期／
1981年11月～1982年8月

この町民体育館は、9人制バレーボールが
同時2面使用出来る大きさを持ち、力強い打
放しの柱に支えられた軽快なパイプトラス、
4面を囲むコルテン鋼のサッシで構成された
アリーナの空間は、明るく快適で、音響の良
さと相まって大変使い易い施設となっている。
168席の観覧席とトレーニングルームを持ち
将来柔剣道場の増設も考慮されている。

テクニカルシート

マイコン内蔵 吸収式冷温水機

矢崎総業株式会社



矢崎は、吸収式冷温水機では世界初のマイコンを内蔵し、さらに世界最小・最軽量モデルの「ニューアロエース」をビル空調の新しい時代に、フレキシブルに対応させていただいております。

●Eシリーズ (7.5RT・10RT)

(設置面積) 0.53㎡、(重量) 550kg、COP 0.92

●Fシリーズ (15RT、20RT)

(設置面積) 1.10㎡、(重量) 900kg、COP 0.95

自動冷媒比例制御方式。

●Gシリーズ (30RT、40RT、50RT)

(設置面積) 1.77㎡～3.13㎡

(重量) 1,350kg～2,250kg、COP 0.95

自動冷媒比例制御方式、Hi-Lo-Off制御
溶液ポンプ極数切換方式。

●ニューアロエース、EFGシリーズは、政府の特別優遇税制及び財政投融资等の適用を受ける事ができます。

〈税制〉

エネルギー利用効率化等投資促進税制

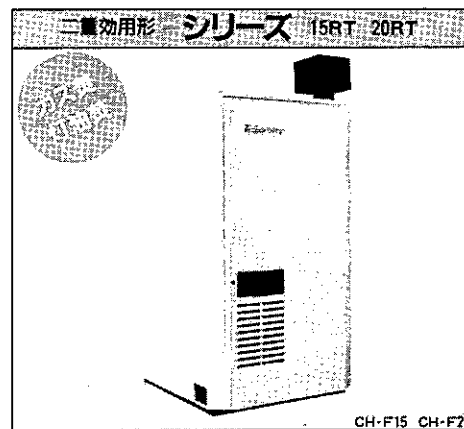
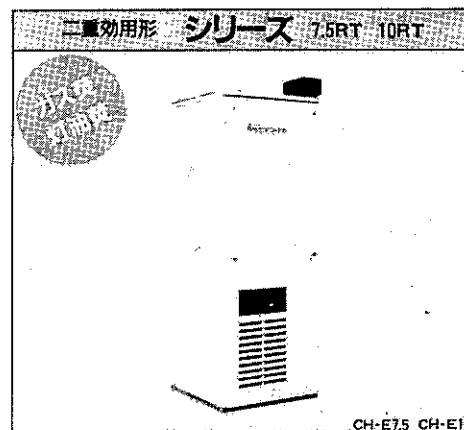
優遇税制の適用機種

機 種		7.5RT	10RT	15RT	20RT
燃 料	都市ガス	—	○	○	○
	天然ガス以外	—	○	○	○
LPガス		—	○	○	○
灯 油		—	○	○	○

※適用期間：昭和59年4月1日～昭和61年3月31日

シリーズ組み合わせ

冷温トン	7.5 RT	10 RT	15 RT	20 RT	30 RT	35 RT	40 RT	50 RT	60 RT	70 RT	80 RT	90 RT	100 RT	110 RT	120 RT	130 RT	140 RT	150 RT
Eシリーズ	ベース	ベース	モジュール 7.5・7.5	モジュール 10・10														
Fシリーズ			ベース	ベース	モジュール 15・15	モジュール 15・20	モジュール 20・20											
Gシリーズ					ベース		ベース	ベース	モジュール 30・30	モジュール 30・40	モジュール 40・40	モジュール 40・50	モジュール 50・50	モジュール 30・40・40	モジュール 40・40・40	モジュール 40・40・50	モジュール 40・50・50	モジュール 50・50・50



【賛助会員名簿】

会社・団体名	担当地	連絡電話番号	会社・団体名	担当地	連絡電話番号
鐘淵化学工業株式会社	東京都港区元赤坂1-3-12(赤坂センタービル)	(03) 405-1018	ヤマキ工業株式会社	須坂市八町1896	(02624)5-1015
積水化成工業株式会社	東京都新宿区西新宿2-1-1(新宿三井ビル)	(03) 347-9639	株式会社長野ナブコ	長野市川中島町四ツ屋1216	(0262)84-1121
株式会社ナカジマ	佐久市新子田1855	(0267)67-3669	松本YKK産業株式会社	松本市笹賀6010-3	(0263)26-4134
株式会社甲州屋	長野市鶴賀七瀬東通り271	(0262)26-3101	三和シャッター工業株式会社	長野市川合新田村西958	(0262)21-1130
株式会社富倉屋	長野市稲里町1-6-25	(0262)85-2011	新日軽株式会社	長野市青木島町大塚917-1	(0262)28-6711
綿半鋼機株式会社	長野市南長池205	(0262)44-6500	長野県板硝子工業組合連合会	飯田市松尾2910-9	(0265)24-7555
株式会社本久	長野市北長野通り3-601	(0262)41-1153	セントラル硝子株式会社	飯田市松尾3093-1	(0265)22-1601
株式会社角藤	長野市東鶴賀町60	(0262)33-0101	株式会社前田鉄工所	長野市吉田4-14-8	(0262)43-0261
株式会社鍋久	長野市若里1972	(0262)27-3115	中信電機株式会社	長野市稲葉母袋沖772	(0262)27-1235
株式会社オークサ本社	佐久市野沢94-1	(0267)62-2345	松田産業株式会社	長野市南長池古新田369-5	(0262)43-3222
前田製管株式会社	長野市南堀651-7	(0262)44-5221	東陶機器株式会社	長野市中村259 昭和ビル5F	(0262)28-7828
岩崎電気株式会社	長野市川合新田3767	(0262)28-2585	富士厨房設備株式会社	長野市栗田175	(0262)26-3225
東洋プレコン工業株式会社	岐阜市忠節町3-58	(0582)65-2311(代)	共和化工株式会社	東京都品川区西五反田7-25-19	(03) 494-1319
小野田デュロックス株式会社	松本市城西1-1-45百瀬ビル3F	(0263)36-0452	長野三菱電機機器販売株式会社	長野市卸しセンター	(0262)28-7111
藤村ヒューム管株式会社	長野市中村町336-11	(0262)44-2282	第一公害プラント株式会社	長野市日詰沖1731	(0262)21-5520
株式会社日創建材	長野市青木島1-18-13	(0262)83-1414	有限会社遠藤厨房機器製作所	埴科郡戸倉町上徳間162	(02627)6-1100
昭和鋼機株式会社	新潟県新潟市笹口2-7-16	(0252)41-3125(代)	株式会社長野コクヨ	長野市吉田3-2-12	(0262)41-0250
株式会社栗本鉄工所	東京都港区新橋4-1-9	(03) 436-8233	滝澤家具株式会社	長野市北尾張部117	(0262)44-0131
東日本旭化成建材株式会社	東京都千代田区内幸町1-1-1	(03) 507-7574	株式会社岡村製作所	長野市栗田舎利田653(栗田ビル内)	(0262)27-2330
株式会社丸六鋼材店	長野市小島田町中村西沖1875	(0262)85-3606	サンリビング長野営業所	長野市栗田653(栗田ビル内)	(0262)27-1528
富岡物産株式会社	長野市東和田806	(0262)43-1321	ホーチキ株式会社	長野市鶴賀七瀬町578-10	(0262)28-3622
昭和興産株式会社	大町市大町6850	(0261)22-3944(代)	ニッタン株式会社	長野市青木島町1-36-7	(0262)27-5528
株式会社炭平本店	長野市北長池1667	(0262)43-6111(代)	岩月瓦工業株式会社	佐久市太田部312	(0267)62-0336
大同コンクリート工業株式会社	名古屋市中区栄2-9-3(兼松江商名古屋支社ビル3F)	(052)203-1381	大日本塗料株式会社	長野市南高田中下河2101	(0262)21-3000
株式会社サンゲツ	長野市早苗町82	(0262)35-3543	日本ステンレス株式会社	東京都新宿区本塩町8-2	(03) 358-2511
株式会社岩野商会	長野市三輪6-26-22	(0262)34-1661	田島ルーフィング株式会社	東京都千代田区岩本町3-11-13	(03) 863-5631
株式会社ニチベイ	長野市三輪1-9-18	(0262)44-7767	坂田工業株式会社	長野市妻科434	(0262)34-3168
田島応用化工株式会社	松本市双葉3-2	(0263)27-1841	古河電気工業株式会社	東京都千代田区丸の内2-6-1	(03) 286-3482
信越化学工業株式会社	長野市中村町259	(0262)28-9104	矢崎総業株式会社長野支店	長野市高田1744-1	(0262)43-5133
立川プラインド工業株式会社	松本市白坂2-4-21	(0263)34-1790	中部クリエート工業株式会社	長野市村山537-1	(0262)96-2511
株式会社シマコー	松本市笹賀7600-2	(0263)58-0456	株式会社イトーキ長野支店	長野市中御所町3-63	(0262)28-3288
シンコール株式会社	長野市稲葉母袋沖614	(0262)21-5881	立山アルミニウム工業株式会社	長野市青木島町大塚1106	(0262)84-9565
三協アルミニウム工業株式会社	長野市三輪1-1-26	(0262)44-1101	サンエイ株式会社	長野市上高田1260	(0262)27-9731

会務報告

- 1月 16日＝第5回公益広報委員会（建築家会館）。尾島理事が出席。議題は①60年度文化講演会運営について②パンフレット「私達の主張」について、他。25日＝連合会理事会（建築家会館）。宮本会長出席。議題は①財政問題について（会費値上げ問題等を含む）②創立10周年記念事業について、他。午後5時より新年交礼会（設計健保会館）。26日＝第4回理事会（諏訪市ホテル中門）。議題は①連合会理事会報告②59年度の事業計画総まとめ③60年度事業計画④会員増強について、他。同＝第8回技術交流会及び新年会（諏訪市ホテル中門）。内容は①前田鉄工所・前田真空式温水ヒータについて、共和化工②長野営業所・家庭用雑排水について。
- 2月 20日＝第6回公益広報委員会（建築家会館）。尾島理事が出席。議題は①当委員会の新事業について②文化講演会の進め方について、他。
- 3月 9日＝第5回理事会（伊那市別館だるま）。議題は①連合会報告②公益広報委員会報告③59年度事業報告④60年度事業計画⑤会計報告、他。20日＝第7回公益広報委員会（建築家会館）。尾島理事出席。議題は①文化講演会の進め方について②当委員会の新事業について、他。28日＝連合会理事会（建築家会館）。宮本会長出席。議題は①60年度予算編成及び事業計画について②創立10周年記念事業について、他。同＝連合会臨時総会（建築家会館）。会長出席。議題は①定款改正について②会費制度改正について。
- 4月 12日＝第9回技術交流会（松本勤労者福祉センター）。内容は矢崎総業①吸収式冷暖房機の機能と効用について、説明会と見学会。15日＝賛助委員会（事務局）。内容はメーカーリスト一覧表制定の打ち合わせ。担当理事、賛助委員長出席。

[正会員名簿]

事務所名	代表者名	所在地	電話番号
飯島一級建築士事務所	飯島和夫	〒390-03 松本市大字岡田松岡25-12	(0263) 46-2268
㈱伊藤建築設計事務所	伊藤宗春	〒390 松本市城西1-8-19	(0263) 32-8200
㈱エア・ハイツ設計事務所	斉藤英彦	〒385 佐久市大字猿久保780-6	(0267) 68-2311
尾島建築事務所	尾島正吉	〒386 上田市踏入2-11-8	(0268) 22-0645
㈱桂建築設計事務所	南島宗市	〒395 飯田市桜町1-41	(0265) 22-7234
久保田建築設計事務所	久保田三代	〒389-25 下高井郡野沢温泉村9604	(0269) 85-2121
計画工房都市建築設計事務所	佐藤友治	〒380 長野市大字上千歳町1413	(0262) 34-2501
小松一級建築士事務所	小松蒼一	〒390 松本市開智2-1-12	(0263) 35-5665
㈱坂本建築事務所	坂本三郎	〒391 茅野市宮川5425-1	(0266) 72-6128
桜井三朗一級建築士事務所	桜井三朗	〒390 松本市城西1-9-15	(0263) 33-2576
㈱城取建築設計事務所	城取義直	〒396 伊那市大字伊那5561	(0265) 72-7271
㈱マルタ建築事務所長野出張所	須田考雄	〒380 長野県町459 旭町ビル	(0262) 32-1616
㈱宮本忠長建築設計事務所	宮本忠長	〒380 長野市柳原1875-1	(0262) 41-5510

編集室から

天の恵みを受けて越冬した動植物が一斉に活動を始める時期。土を押し分けて地上に若芽を出してくるもの、固い蕾をほころばして新芽をのぞかせる木木、その活力はすさまじい。また地上をほう小虫、

野花の上に舞う蝶、さえずり飛ぶ小鳥……私共の取り組む建築も、自然との関わりがより深く持てる所に良いものが生まれる。建築の美的表現に大切な審美性の追求は、私共の一生の課題ではなからうか。

長野県建築設計監理協会会報第10号

昭和60年4月30日発行

編集人／小松蒼一 発行人／宮本忠長

発行所 長野県建築設計監理協会

作成 長野県建設工業新聞社

豊富な経験

確かな技術で


責任施工

(総合建築防水)

坂田工業株式会社

長野市妻科434
TEL 0262-34-3168(代)

アルミサッシュ、カーテンウォール、
型鋼カーテンウォールの総合メーカー

 昭和三洋工業株式会社
新潟営業所

新潟市笹口2丁目7番16号(和田ビル)
TEL 0252-41-3125
本社 東京都板橋区前野町6丁目1番10号
TEL 03-969-1101

床暖房システム 融雪システム

電気、温水による床暖房や屋根、道路の融雪システムにより冬の快適ライフをお届けします。

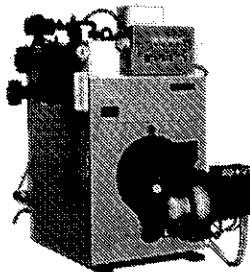
快適な生活環境づくりにとりくむ

古河電工

本社 東京都千代田区丸の内2-6-1 ☎ (03)286-3480
名古屋支店 名古屋市中区東桜2-22-18 ☎ (052)931-8871
大阪/九州/広島/東北/札幌/高松/富山/浜松/豊田/沖縄

優れた寿命、性能、経済性

鋳鉄製 前田真空式温水ヒーター



MFV シリーズ

- 省エネルギー
- 省力
- 省スペース

70余年の伝統が
生きています。



株式会社 前田鉄工所

取締役社長 前田市也

本社・工場 長野市吉田4丁目14-8 ☎ (0262) 43-0261
営業所 東京、大阪、名古屋、札幌、仙台、広島、長野

KOKUYO

卒業高校・体育館

ボタン操作1つでスペースの多目的
利用が容易に

ココヨ
移動観覧席

ココヨ株式会社 ☎537 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号



長野県建築設計監理協会